



Tiebreaker

ソフトウェアをインストールします ONTAP MetroCluster

NetApp
April 25, 2024

目次

Tiebreaker ソフトウェアをインストールします	1
Tiebreakerのインストールワークフロー	1
Tiebreakerソフトウェアをインストールする準備	1
Tiebreakerのホストとデータベースのインストールを保護する	3
Tiebreakerソフトウェアパッケージのインストール	6

Tiebreaker ソフトウェアをインストールします

Tiebreakerのインストールワークフロー

Tiebreaker ソフトウェアは、クラスタストレージ環境に監視機能を提供します。また、ノード接続の問題やサイト障害が発生した場合に SNMP 通知を送信します。

このワークフローについて

このワークフローを使用して、Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードできます。

1

"Tiebreakerソフトウェアをインストールする準備"

Tiebreakerソフトウェアをインストールして設定する前に、システムが一定の要件を満たしていることを確認してください。

2

"インストールのセキュリティを確保する"

MetroCluster Tiebreaker 1.5以降を実行する構成では、ホストOSとデータベースを保護および強化できます。

3

"Tiebreakerソフトウェアパッケージのインストール"

Tiebreakerソフトウェアの新規インストールまたはアップグレードを実行する。実行するインストール手順は、インストールするTiebreakerのバージョンによって異なります。

Tiebreakerソフトウェアをインストールする準備

Tiebreakerソフトウェアをインストールして設定する前に、システムが一定の要件を満たしていることを確認する必要があります。

ソフトウェア要件

インストールするTiebreakerのバージョンに応じて、次のソフトウェア要件を満たしている必要があります。

ONTAP Tiebreaker のバージョン	サポートされ るONTAPのバージ ョン	サポートされている Linux バージョン	Java/MariaDBノウケン
1.6	ONTAP 9.12.1以降	を参照してください "OSサポートマトリ ックス" を参照して ください。	なし依存関係はインストールにバンドル されています。

1.5	ONTAP 9.8からONTAP 9.14.1へ	<ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux 8.1から8.7 	<p>Red Hat Enterprise Linux 8.1から8.7の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> MariaDB 10.x（「yum install MariaDB-server.x86_64」を使用してインストールされたデフォルトバージョンを使用） OpenJDK 17、18、または19
1.4	ONTAP 9.1からONTAP 9.9.1へ	<ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux 8.1から8.7 Red Hat Enterprise Linux 7～7.9 CentOS 7～7.9 64ビット 	<p>CentOSの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> MariaDB 5.5.52.x / MySQL サーバ 5.6x 4GB の RAM JRE 8を開きます <p>Red Hat Enterprise Linux 8.1から8.7の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> MariaDB 10.x（「yum install MariaDB-server.x86_64」を使用してインストールされたデフォルトバージョンを使用） JRE 8

その他の要件

さらに次の要件に注意する必要があります。

- Tiebreaker ソフトウェアは 3 つ目のサイトにインストールします。これにより、スイッチ間リンク（ISL）障害（サイト間リンクが停止している）障害とサイト障害をソフトウェアが区別できるようになります。TiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードしてMetroCluster構成を監視するには、ホストシステムが一定の要件を満たしている必要があります。
- MetroCluster Tiebreakerソフトウェアとそれに依存するパッケージをインストールするには、「root」権限が必要です。
- 複数のMetroCluster Tiebreakerモニタとの競合を回避するために、MetroCluster 構成ごとに1つのTiebreakerモニタのみを使用できます。
- Tiebreakerソフトウェアのネットワークタイムプロトコル（NTP）ソースを選択する場合は、ローカルのNTPソースを使用する必要があります。Tiebreakerソフトウェアが監視するMetroClusterサイトと同じソースをTiebreakerソフトウェアで使用しないでください。
- ディスク容量：8GB
- ファイアウォール：
 - AutoSupport メッセージをセットアップするための直接アクセス
 - SSH（ポート 22 / TCP）、HTTPS（ポート 443 / TCP）、および ping（ICMP）

Tiebreakerのホストとデータベースのインストールを保護する

MetroCluster Tiebreaker 1.5以降を実行する構成では、ホストOSとデータベースを保護および強化できます。

ホストを保護します

次のガイドラインは、Tiebreakerソフトウェアがインストールされているホストを保護する方法を示しています。

ユーザ管理の推奨事項

- 「root」ユーザのアクセスを制限します。
 - rootアクセスに昇格できるユーザを使用して、Tiebreakerソフトウェアをインストールおよび管理できます。
 - ルートアクセスに昇格できないユーザを使用してTiebreakerソフトウェアを管理できます。
 - インストール時に、「mcctbgrp」という名前のグループを作成する必要があります。ホストのrootユーザとインストール中に作成されたユーザは、両方ともメンバーである必要があります。Tiebreakerソフトウェアを完全に管理できるのは、このグループのメンバーだけです。



このグループのメンバーでないユーザはTiebreakerソフトウェアやCLIにアクセスできません。ホスト上に追加のユーザを作成して、それらのユーザをグループのメンバーにすることができます。これらの追加メンバーは、Tiebreakerソフトウェアを完全に管理することはできません。ReadOnlyにアクセスできるため、モニタの追加、変更、削除はできません。

- Tiebreakerをrootユーザとして実行しないでください。Tiebreakerの実行には、権限のない専用のサービスアカウントを使用します。
- 「/etc/snmp/snmpd.conf」ファイルのデフォルトのコミュニティストリングを変更します。
- 最小限の書き込み権限を許可します。権限のないTiebreakerサービスアカウントには、実行可能バイナリや構成ファイルを上書きするアクセス権がありません。Tiebreakerユーザが書き込みできるのは、ローカルのTiebreakerストレージ（統合バックエンドストレージなど）または監査ログのディレクトリとファイルだけです。
- 匿名ユーザを許可しないでください。
 - AllowTcpForwardingを「no」に設定するか、matchディレクティブを使用して匿名ユーザを制限します。

関連情報

- ["Red Hat Enterprise Linux 8の製品ドキュメント"](#)
- ["Red Hat Enterprise Linux 9製品ドキュメント"](#)

ベースラインホストセキュリティの推奨事項

- ディスク暗号化を使用する
 - ディスク暗号化を有効にすることができます。FullDiskEncryption（ハードウェア）か、HostOS（ソフトウェア）またはSVMホストが提供する暗号化です。

- 着信接続を許可する未使用のサービスを無効にします。使用していないサービスは無効にすることができません。Tiebreakerソフトウェアでは、Tiebreakerインストールからの接続はすべて発信であるため、受信接続にサービスは必要ありません。デフォルトで有効になっていて無効にできるサービスは次のとおりです。

- HTTP / HTTPSサーバ
- FTPサーバ
- Telnet、RSH、rlogin
- NFS、CIFS、およびその他のプロトコルアクセス
- RDP (RemoteDesktopProtocol) 、X11サーバ、VNC、またはその他のリモート「デスクトップ」サービスプロバイダー。



ホストをリモートで管理するには、シリアルコンソールアクセス（サポートされている場合）または少なくとも1つのプロトコルを有効にしておく必要があります。すべてのプロトコルを無効にすると、管理のためにホストに物理的にアクセスする必要があります。

- FIPSを使用してホストを保護します

- ホストOSをFIPS準拠モードでインストールしてからTiebreakerをインストールできます。



OpenJDK 19は、ホストがFIPSモードでインストールされているかどうかを起動時にチェックします。手動で変更する必要はありません。

- ホストを保護する場合は、ユーザの介入なしにホストがブートできることを確認する必要があります。ユーザの操作が必要な場合、ホストが予期せずリブートしたときにTiebreaker機能を使用できないことがあります。この場合、Tiebreaker機能は手動操作後、ホストが完全にブートされた場合にのみ使用できます。
- シェルコマンド履歴を無効にします。
- 頻繁にアップグレードする。Tiebreakerは積極的に開発されており、セキュリティ修正プログラムや、キーの長さや暗号スイートなどのデフォルト設定の変更を組み込むには、頻繁に更新することが重要です。
- HashiCorp Announcementメーリングリストに登録すると、新しいリリースのお知らせを受け取ることができます。Tiebreaker CHANGELOGにアクセスして、新しいリリースの最新のアップデートの詳細を確認してください。
- 正しいファイル権限を使用してください。Tiebreakerソフトウェアを起動する前に、特に機密情報を含むファイルに対して適切な権限が適用されていることを必ず確認してください。
- 多要素認証（MFA）は、管理者がユーザ名とパスワード以外のものを使用して自身を識別するように要求することで、組織のセキュリティを強化します。ユーザー名とパスワードは重要ですが、ブルートフォース攻撃に対して脆弱であり、第三者によって盗まれる可能性があります。
 - Red Hat Enterprise Linux 8にはMFAが用意されており、アカウントまたはLinuxホストに対して正常に認証するために複数の情報を指定する必要があります。追加情報は、SMSまたはGoogle Authenticator、Twilio Authy、FreeOTPなどのアプリからの認証情報を介して携帯電話に送信されるワンタイムパスワードです。

関連情報

- ["Red Hat Enterprise Linux 8の製品ドキュメント"](#)
- ["Red Hat Enterprise Linux 9製品ドキュメント"](#)

データベースのインストールを保護します

次のガイドラインは、MariaDB 10.xデータベースのインストールを保護および強化する方法を示しています。

- 「root」ユーザのアクセスを制限します。
 - Tiebreakerは専用のアカウントを使用します。（設定）データを格納するアカウントとテーブルは、Tiebreakerのインストール時に作成されます。データベースへの昇格アクセスが必要なのは、インストール中だけです。
- インストール中は、次のアクセス権と権限が必要です。
 - データベースとテーブルを作成する機能
 - グローバルオプションを作成する機能
 - データベースユーザを作成し、パスワードを設定する機能
 - データベース・ユーザをデータベースおよびテーブルに関連付け、アクセス権を割り当てる機能



Tiebreakerのインストール時に指定するユーザアカウントには、これらのすべての権限が必要です。異なるタスクに複数のユーザアカウントを使用することはサポートされていません。

- データベースの暗号化を使用します
 - 保存データの暗号化がサポートされます。 ["保存データ暗号化の詳細"](#)
 - 転送中のデータは暗号化されません。転送中のデータは、ローカルの「ソックス」ファイル接続を使用します。
 - MariaDBのFIPS準拠—データベースでFIPS準拠を有効にする必要はありません。FIPS準拠モードでホストをインストールすれば十分です。

["MySQL Enterprise Transparent Data Encryption \(TDE\) の詳細"](#)



暗号化設定は、Tiebreakerソフトウェアをインストールする前に有効にする必要があります。

関連情報

- データベースユーザ管理
["アクセス制御とアカウント管理"](#)
- データベースを保護します
["MySQLを攻撃者から保護する"](#)
["MariaDBの保護"](#)
- Vaultインストールを保護します
["生産性の強化"](#)

Tiebreakerソフトウェアパッケージのインストール

インストール手順の選択

Tiebreakerのインストール手順は、インストールするTiebreakerのバージョンによって異なります。

Tiebreakerバージョン	手順
Tiebreaker 1.6	"Tiebreaker 1.6のインストール"
Tiebreaker 1.5	"Tiebreaker 1.5をインストール"
Tiebreaker 1.4	"Tiebreaker 1.4のインストール"

Tiebreaker 1.6のインストール

MetroCluster構成を監視するには、ホストLinuxオペレーティングシステムでTiebreaker 1.6の新規インストールまたはアップグレードを実行します。

このタスクについて

- ストレージシステムでONTAP 9.12.1以降が実行されている必要があります。
- MetroCluster Tiebreakerは、Tiebreakerのインストール、テーブルとユーザの作成、ユーザパスワードの設定に必要な管理権限を持つroot以外のユーザとしてインストールできます。

手順

1. MetroCluster Tiebreaker 1.6ソフトウェアをダウンロードします。

["MetroCluster Tiebreaker（ダウンロード） - NetApp Support Site"](#)

2. root ユーザとしてホストにログインします。
3. アップグレードを実行する場合は、実行しているTiebreakerのバージョンを確認します。

次の例はTiebreaker 1.5を示しています。

```
[root@mcctb ~] # netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cli
NetApp MetroCluster Tiebreaker :> version show
NetApp MetroCluster Tiebreaker 1.5: Sun Mar 13 09:59:02 IST 2022
NetApp MetroCluster Tiebreaker :> exit
```

4. Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。

Tiebreaker 1.6のインストール

Tiebreaker 1.6を新規にインストールする場合は、次の手順を実行します。

手順

- a. で次のコマンドを実行します。 [root@mcctb ~] # インストールを開始するようにプロンプトを表示します。

```
sh MetroClusterTiebreakerInstall-1.6
```

インストールが完了すると、次の出力が表示されます。

```
Extracting the MetroCluster Tiebreaker installation/upgrade
archive
Install digest hash is Ok
Performing the MetroCluster Tiebreaker code signature check
Install code signature is Ok
Enter unix user account to use for the installation:
mcctbadminuser
Unix user account "mcctbadminuser" doesn't exist. Do you wish to
create "mcctbadminuser" user account? [Y/N]: y
useradd: warning: the home directory already exists.
Not copying any file from skel directory into it.
Creating mailbox file: File exists
Unix account "mcctbadminuser" created.
Changing password for user mcctbadminuser.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.
MetroCluster Tiebreaker requires unix user account
"mcctbadminuser" to be added to the group "mcctbgrp" for admin
access.
Do you wish to add ? [Y/N]: y
Unix user account "mcctbadminuser" added to "mcctbgrp".
Do you wish to generate your own public-private key pair for
encrypting audit log? [Y/N]: y
Generating public-private key pair...
Configuring Vault...
Starting vault server...
==> Vault server configuration:

      Api Address: <api_address>
      Cgo: disabled
      Cluster Address: <cluster_address>
      Environment Variables: BASH_FUNC_which%%,
```

```
DBUS_SESSION_BUS_ADDRESS, GODEBUG, HISTCONTROL, HISTSIZE, HOME,
HOSTNAME, HOST_ACCOUNT, LANG, LESSOPEN, LOGNAME, LS_COLORS, MAIL,
PATH, PWD, SHELL, SHLVL, SSH_CLIENT, SSH_CONNECTION, SSH_TTY,
STAF_TEMP_DIR, TERM, USER, VAULT_ADDR, VAULT_TOKEN,
XDG_RUNTIME_DIR, XDG_SESSION_ID, _, vault_Addr, which_declare
Go Version: go1.20.5
Listener 1: tcp (addr: "0.0.0.0:8200", cluster
address: "0.0.0.0:8201", max_request_duration: "1m30s",
max_request_size: "33554432", tls: "enabled")
Log Level:
Mlock: supported: true, enabled: true
Recovery Mode: false
Storage: file
Version: Vault v1.14.0, built 2023-06-
19T11:40:23Z
Version Sha:
13a649f860186dffe3f3a4459814d87191efc321
```

==> Vault server started! Log data will stream in below:

```
2023-11-23T15:14:28.532+0530 [INFO] proxy environment:
http_proxy="" https_proxy="" no_proxy=""
2023-11-23T15:14:28.577+0530 [INFO] core: Initializing version
history cache for core
2023-11-23T15:14:38.552+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2023-11-23T15:14:38.552+0530 [INFO] core: seal configuration
missing, not initialized
2023-11-23T15:14:38.554+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2023-11-23T15:14:38.555+0530 [INFO] core: security barrier
initialized: stored=1 shares=5 threshold=3
2023-11-23T15:14:38.556+0530 [INFO] core: post-unseal setup
starting
2023-11-23T15:14:38.577+0530 [INFO] core: loaded wrapping token
key
2023-11-23T15:14:38.577+0530 [INFO] core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-11-23T15:14:38.577+0530 [INFO] core: no mounts; adding
default mount table
2023-11-23T15:14:38.578+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:38.578+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
```

```
2023-11-23T15:14:38.578+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:38.581+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:38.581+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2023-11-23T15:14:38.581+0530 [INFO] core: restoring leases
2023-11-23T15:14:38.582+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete
2023-11-23T15:14:38.582+0530 [INFO] identity: entities restored
2023-11-23T15:14:38.582+0530 [INFO] identity: groups restored
2023-11-23T15:14:38.583+0530 [INFO] core: Recorded vault
version: vault version=1.14.0 upgrade time="2023-11-23
09:44:38.582881162 +0000 UTC" build date=2023-06-19T11:40:23Z
2023-11-23T15:14:38.583+0530 [INFO] core: usage gauge collection
is disabled
2023-11-23T15:14:38.998+0530 [INFO] core: post-unseal setup
complete
2023-11-23T15:14:38.999+0530 [INFO] core: root token generated
2023-11-23T15:14:38.999+0530 [INFO] core: pre-seal teardown
starting
2023-11-23T15:14:38.999+0530 [INFO] rollback: stopping rollback
manager
2023-11-23T15:14:38.999+0530 [INFO] core: pre-seal teardown
complete
2023-11-23T15:14:39.311+0530 [INFO] core.cluster-listener.tcp:
starting listener: listener_address=0.0.0.0:8201
2023-11-23T15:14:39.311+0530 [INFO] core.cluster-listener:
serving cluster requests: cluster_listen_address=[::]:8201
2023-11-23T15:14:39.312+0530 [INFO] core: post-unseal setup
starting
2023-11-23T15:14:39.312+0530 [INFO] core: loaded wrapping token
key
2023-11-23T15:14:39.312+0530 [INFO] core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-11-23T15:14:39.313+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:39.313+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:39.313+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
```

```

2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] core: restoring leases
2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] identity: entities restored
2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete
2023-11-23T15:14:39.314+0530 [INFO] identity: groups restored
2023-11-23T15:14:39.315+0530 [INFO] core: usage gauge collection
is disabled
2023-11-23T15:14:39.316+0530 [INFO] core: post-unseal setup
complete
2023-11-23T15:14:39.316+0530 [INFO] core: vault is unsealed
Success! Uploaded policy: mcctb-policy
2023-11-23T15:14:39.795+0530 [INFO] core: enabled credential
backend: path=appprole/ type=appprole version=""
Success! Enabled approle auth method at: approle/
2023-11-23T15:14:39.885+0530 [INFO] core: successful mount:
namespace="" path=mcctb/ type=kv version=""
Success! Enabled the kv secrets engine at: mcctb/
Success! Data written to: auth/appprole/role/mcctb-app
Installing the NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.6-
1.x86_64.rpm
Preparing... #
##### # [100%]

Updating / installing...

1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-So#
##### # [100%]
Performing file integrity check
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support is Ok
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support-cov is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cov is Ok
etc/logrotate.d/mcctb is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/activation-1.1.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aopalliance.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/args4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjrt.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjweaver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/asup.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcpkix-jdk15on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk15on.jar is Ok

```

opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-fips-1.0.13.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcutil-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/cglib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-codec.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-collections4.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-compress.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.src.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-dbcp2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-io.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-lang3.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-logging.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-pool2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/guava.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpclient.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpcore.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.activation.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.xml.bind-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/java-xmlbuilder.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/javax.inject.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-api-2.3.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-impl.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jline.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jna.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/joda-time.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jsch.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/json.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jsvc.zip is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-native-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-classic.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mail-1.6.2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mariadb-java-client.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb-mib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mockito-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/slf4j-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/snmp4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-aop.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-beans.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context-support.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context.jar is Ok

```
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-expression.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-web.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/vault-java-driver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/xz.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/org.jacoco.agent-0.8.8-runtime.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/mcctb-asup-invoke is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/mcctb_postrotate is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cli
is Ok
/
```

```
Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
Created symlink /etc/systemd/system/multi-
user.target.wants/netapp-metrocluster-tiebreaker-software.service
→ /etc/systemd/system/netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service.
```

```
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Successfully installed NetApp MetroCluster Tiebreaker software
version 1.6.
```

Tiebreaker 1.5から1.6へのアップグレード

Tiebreaker 1.5ソフトウェアのバージョンをTiebreaker 1.6にアップグレードするには、次の手順を実行します。

手順

- で次のコマンドを実行します。[root@mcctb ~] # ソフトウェアのアップグレードを求めるプロンプトを表示します。

```
sh MetroClusterTiebreakerInstall-1.6
```

アップグレードが完了すると、次の出力が表示されます。

```
Extracting the MetroCluster Tiebreaker installation/upgrade
archive
Install digest hash is Ok
Performing the MetroCluster Tiebreaker code signature check
```

```

Install code signature is Ok

Enter database user name : root

Please enter database password for root
Enter password:

Password updated successfully in the database.

Do you wish to generate your own public-private key pair for
encrypting audit log? [Y/N]: y
Generating public-private key pair...
Configuring Vault...
==> Vault shutdown triggered
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   core: marked as sealed
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   core: pre-seal teardown
starting
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   rollback: stopping rollback
manager
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   core: pre-seal teardown
complete
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   core: stopping cluster
listeners
2023-07-21T00:30:22.335+0530 [INFO]   core.cluster-listener:
forwarding rpc listeners stopped
2023-07-21T00:30:22.375+0530 [INFO]   core.cluster-listener: rpc
listeners successfully shut down
2023-07-21T00:30:22.375+0530 [INFO]   core: cluster listeners
successfully shut down
2023-07-21T00:30:22.376+0530 [INFO]   core: vault is sealed
Starting vault server...
==> Vault server configuration:

      Api Address: <api_address>
      Cgo: disabled
      Cluster Address: <cluster_address>
      Environment Variables: BASH_FUNC_which%%,
      DBUS_SESSION_BUS_ADDRESS, GODEBUG, HISTCONTROL, HISTSIZE, HOME,
      HOSTNAME, HOST_ACCOUNT, LANG, LESSOPEN, LOGNAME, LS_COLORS, MAIL,
      PATH, PWD, SHELL, SHLVL, SSH_CLIENT, SSH_CONNECTION, SSH_TTY,
      STAF_TEMP_DIR, TERM, USER, VAULT_ADDR, VAULT_TOKEN,
      XDG_RUNTIME_DIR, XDG_SESSION_ID, _, vault_Addr, which_declare
      Go Version: go1.20.5
      Listener 1: tcp (addr: "0.0.0.0:8200", cluster
      address: "0.0.0.0:8201", max_request_duration: "1m30s",
      max_request_size: "33554432", tls: "enabled")

```

```

Log Level:
  Mlock: supported: true, enabled: true
Recovery Mode: false
  Storage: file
  Version: Vault v1.14.0, built 2023-06-
19T11:40:23Z
  Version Sha:
13a649f860186dffe3f3a4459814d87191efc321

==> Vault server started! Log data will stream in below:

2023-07-21T00:30:33.065+0530 [INFO] proxy environment:
http_proxy="" https_proxy="" no_proxy=""
2023-07-21T00:30:33.098+0530 [INFO] core: Initializing version
history cache for core
2023-07-21T00:30:43.092+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2023-07-21T00:30:43.092+0530 [INFO] core: seal configuration
missing, not initialized
2023-07-21T00:30:43.094+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2023-07-21T00:30:43.096+0530 [INFO] core: security barrier
initialized: stored=1 shares=5 threshold=3
2023-07-21T00:30:43.098+0530 [INFO] core: post-unseal setup
starting
2023-07-21T00:30:43.124+0530 [INFO] core: loaded wrapping token
key
2023-07-21T00:30:43.124+0530 [INFO] core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-07-21T00:30:43.124+0530 [INFO] core: no mounts; adding
default mount table
2023-07-21T00:30:43.125+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.126+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.126+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.129+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.130+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2023-07-21T00:30:43.130+0530 [INFO] core: restoring leases

```



```

2023-07-21T00:30:43.130+0530 [INFO] identity: entities restored
2023-07-21T00:30:43.130+0530 [INFO] identity: groups restored
2023-07-21T00:30:43.131+0530 [INFO] core: usage gauge collection
is disabled
2023-07-21T00:30:43.131+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete
2023-07-21T00:30:43.131+0530 [INFO] core: Recorded vault
version: vault version=1.14.0 upgrade time="2023-07-20
19:00:43.131158543 +0000 UTC" build date=2023-06-19T11:40:23Z
2023-07-21T00:30:43.371+0530 [INFO] core: post-unseal setup
complete
2023-07-21T00:30:43.371+0530 [INFO] core: root token generated
2023-07-21T00:30:43.371+0530 [INFO] core: pre-seal teardown
starting
2023-07-21T00:30:43.371+0530 [INFO] rollback: stopping rollback
manager
2023-07-21T00:30:43.372+0530 [INFO] core: pre-seal teardown
complete
2023-07-21T00:30:43.694+0530 [INFO] core.cluster-listener.tcp:
starting listener: listener_address=0.0.0.0:8201
2023-07-21T00:30:43.695+0530 [INFO] core.cluster-listener:
serving cluster requests: cluster_listen_address=[:]:8201
2023-07-21T00:30:43.695+0530 [INFO] core: post-unseal setup
starting
2023-07-21T00:30:43.696+0530 [INFO] core: loaded wrapping token
key
2023-07-21T00:30:43.696+0530 [INFO] core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-07-21T00:30:43.697+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.698+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.698+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.701+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-07-21T00:30:43.701+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2023-07-21T00:30:43.702+0530 [INFO] core: restoring leases
2023-07-21T00:30:43.702+0530 [INFO] identity: entities restored
2023-07-21T00:30:43.702+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete

```

```

2023-07-21T00:30:43.702+0530 [INFO] identity: groups restored
2023-07-21T00:30:43.702+0530 [INFO] core: usage gauge collection
is disabled
2023-07-21T00:30:43.703+0530 [INFO] core: post-unseal setup
complete
2023-07-21T00:30:43.703+0530 [INFO] core: vault is unsealed
Success! Uploaded policy: mcctb-policy
2023-07-21T00:30:44.226+0530 [INFO] core: enabled credential
backend: path=aprole/ type=aprole version=""
Success! Enabled aprole auth method at: aprole/
2023-07-21T00:30:44.315+0530 [INFO] core: successful mount:
namespace="" path=mcctb/ type=kv version=""
Success! Enabled the kv secrets engine at: mcctb/
Success! Data written to: auth/aprole/role/mcctb-app
Upgrading to NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.6-
1.x86_64.rpm
Preparing...
##### [100%]
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [ 50%]
Performing file integrity check
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support is Ok
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support-cov is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cov is Ok
etc/logrotate.d/mcctb is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/activation-1.1.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aopalliance.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/args4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjrt.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjweaver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/asup.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcpxkix-jdk15on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk15on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-fips-1.0.13.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcutil-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/cglib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-codec.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-collections4.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-compress.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.src.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-dbcp2.jar is Ok

```

```
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-io.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-lang3.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-logging.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-pool2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/guava.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpclient.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpcore.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.activation.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.xml.bind-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/java-xmlbuilder.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/javax.inject.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-api-2.3.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-impl.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jline.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jna.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/joda-time.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jsch.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/json.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jsvc.zip is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-native-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-classic.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mail-1.6.2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mariadb-java-client.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb-mib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mockito-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/slf4j-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/snmp4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-aop.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-beans.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context-support.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-expression.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-web.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/vault-java-driver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/xz.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/mcctb_postrotate is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cli
is Ok
/
```

Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-

```
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
```

```
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
```

```
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
```

```
Successfully upgraded NetApp MetroCluster Tiebreaker software to
version 1.6.
```

```
Cleaning up / removing...
```

```
2:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
```

```
So##### [100%]
```

Tiebreaker 1.4から1.6へのアップグレード

Tiebreaker 1.4ソフトウェアのバージョンをTiebreaker 1.6にアップグレードするには、次の手順に従います。

手順

- で次のコマンドを実行します。 [root@mcctb ~] # ソフトウェアのアップグレードを求めるプロンプトを表示します。

```
sh MetroClusterTiebreakerInstall-1.6
```

アップグレードが完了すると、次の出力が表示されます。

```
Extracting the MetroCluster Tiebreaker installation/upgrade
archive
Install digest hash is Ok
Performing the MetroCluster Tiebreaker code signature check
Install code signature is Ok
Enter unix user account to use for the installation:
mcctbuseradmin1
Unix user account "mcctbuseradmin1" doesn't exist. Do you wish to
create "mcctbuseradmin1" user account? [Y/N]: y
Unix account "mcctbuseradmin1" created.
Changing password for user mcctbuseradmin1.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.

Enter database user name : root

Please enter database password for root
```

Enter password:

Password updated successfully in the database.

MetroCluster Tiebreaker requires unix user account
"mcctbuseradmin1" to be added to the group "mcctbgrp" for admin
access.

Do you wish to add ? [Y/N]: y

Unix user account "mcctbuseradmin1" added to "mcctbgrp".

Do you wish to generate your own public-private key pair for
encrypting audit log? [Y/N]: y

Generating public-private key pair...

Configuring Vault...

Starting vault server...

=> Vault server configuration:

Api Address: <api_address>

Cgo: disabled

Cluster Address: <cluster_address>

Environment Variables: BASH_FUNC_which%%,
DBUS_SESSION_BUS_ADDRESS, GODEBUG, HISTCONTROL, HISTSIZE, HOME,
HOSTNAME, HOST_ACCOUNT, LANG, LESSOPEN, LOGNAME, LS_COLORS, MAIL,
PATH, PWD, SHELL, SHLVL, SSH_CLIENT, SSH_CONNECTION, SSH_TTY,
STAF_TEMP_DIR, TERM, USER, VAULT_ADDR, VAULT_TOKEN,
XDG_RUNTIME_DIR, XDG_SESSION_ID, _, vault_Addr, which_declare

Go Version: go1.20.5

Listener 1: tcp (addr: "0.0.0.0:8200", cluster
address: "0.0.0.0:8201", max_request_duration: "1m30s",
max_request_size: "33554432", tls: "enabled")

Log Level:

Mlock: supported: true, enabled: true

Recovery Mode: false

Storage: file

Version: Vault v1.14.0, built 2023-06-

19T11:40:23Z

Version Sha:

13a649f860186dffe3f3a4459814d87191efc321

=> Vault server started! Log data will stream in below:

2023-11-23T15:58:10.400+0530 [INFO] proxy environment:

http_proxy="" https_proxy="" no_proxy=""

2023-11-23T15:58:10.432+0530 [INFO] core: Initializing version
history cache for core

2023-11-23T15:58:20.422+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized

```

2023-11-23T15:58:20.422+0530 [INFO]   core: seal configuration
missing, not initialized
2023-11-23T15:58:20.424+0530 [INFO]   core: security barrier not
initialized
2023-11-23T15:58:20.425+0530 [INFO]   core: security barrier
initialized: stored=1 shares=5 threshold=3
2023-11-23T15:58:20.427+0530 [INFO]   core: post-unseal setup
starting
2023-11-23T15:58:20.448+0530 [INFO]   core: loaded wrapping token
key
2023-11-23T15:58:20.448+0530 [INFO]   core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-11-23T15:58:20.448+0530 [INFO]   core: no mounts; adding
default mount table
2023-11-23T15:58:20.449+0530 [INFO]   core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:20.449+0530 [INFO]   core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:20.449+0530 [INFO]   core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:20.451+0530 [INFO]   core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:20.452+0530 [INFO]   rollback: starting rollback
manager
2023-11-23T15:58:20.452+0530 [INFO]   core: restoring leases
2023-11-23T15:58:20.453+0530 [INFO]   identity: entities restored
2023-11-23T15:58:20.453+0530 [INFO]   identity: groups restored
2023-11-23T15:58:20.453+0530 [INFO]   expiration: lease restore
complete
2023-11-23T15:58:20.453+0530 [INFO]   core: usage gauge collection
is disabled
2023-11-23T15:58:20.453+0530 [INFO]   core: Recorded vault
version: vault version=1.14.0 upgrade time="2023-11-23
10:28:20.453481904 +0000 UTC" build date=2023-06-19T11:40:23Z
2023-11-23T15:58:20.818+0530 [INFO]   core: post-unseal setup
complete
2023-11-23T15:58:20.819+0530 [INFO]   core: root token generated
2023-11-23T15:58:20.819+0530 [INFO]   core: pre-seal teardown
starting
2023-11-23T15:58:20.819+0530 [INFO]   rollback: stopping rollback
manager
2023-11-23T15:58:20.819+0530 [INFO]   core: pre-seal teardown

```

```
complete
2023-11-23T15:58:21.116+0530 [INFO] core.cluster-listener.tcp:
starting listener: listener_address=0.0.0.0:8201
2023-11-23T15:58:21.116+0530 [INFO] core.cluster-listener:
serving cluster requests: cluster_listen_address=[::]:8201
2023-11-23T15:58:21.117+0530 [INFO] core: post-unseal setup
starting
2023-11-23T15:58:21.117+0530 [INFO] core: loaded wrapping token
key
2023-11-23T15:58:21.117+0530 [INFO] core: successfully setup
plugin catalog: plugin-directory=""
2023-11-23T15:58:21.119+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=system version="v1.14.0+builtin.vault" path=sys/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:21.120+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=identity version="v1.14.0+builtin.vault" path=identity/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:21.120+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=cubbyhole version="v1.14.0+builtin.vault" path=cubbyhole/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:21.123+0530 [INFO] core: successfully mounted:
type=token version="v1.14.0+builtin.vault" path=token/
namespace="ID: root. Path: "
2023-11-23T15:58:21.123+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2023-11-23T15:58:21.124+0530 [INFO] core: restoring leases
2023-11-23T15:58:21.124+0530 [INFO] identity: entities restored
2023-11-23T15:58:21.124+0530 [INFO] identity: groups restored
2023-11-23T15:58:21.124+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete
2023-11-23T15:58:21.125+0530 [INFO] core: usage gauge collection
is disabled
2023-11-23T15:58:21.125+0530 [INFO] core: post-unseal setup
complete
2023-11-23T15:58:21.125+0530 [INFO] core: vault is unsealed
Success! Uploaded policy: mcctb-policy
2023-11-23T15:58:21.600+0530 [INFO] core: enabled credential
backend: path=appprole/ type=appprole version=""
Success! Enabled approle auth method at: approle/
2023-11-23T15:58:21.690+0530 [INFO] core: successful mount:
namespace="" path=mcctb/ type=kv version=""
Success! Enabled the kv secrets engine at: mcctb/
Success! Data written to: auth/appprole/role/mcctb-app
Upgrading to NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.6-
1.x86_64.rpm
Preparing...
```

```

##### [100%]
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [ 50%]
Performing file integrity check
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support is Ok
etc/cron.weekly/metrocluster-tiebreaker-support-cov is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software is Ok
etc/init.d/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cov is Ok
etc/logrotate.d/mcctb is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/activation-1.1.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aopalliance.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/args4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjrt.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/aspectjweaver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/asup.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcpkix-jdk15on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk15on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcprov-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-fips-1.0.13.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bctls-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/bcutil-jdk18on.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/cglib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-codec.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-collections4.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-compress.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-daemon.src.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-dbcp2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-io.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-lang3.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-logging.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/commons-pool2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/guava.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpclient.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/httpcore.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.activation.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jakarta.xml.bind-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/java-xmlbuilder.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/javax.inject.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-api-2.3.1.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jaxb-impl.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jline.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jna.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/joda-time.jar is Ok

```



```

opt/netapp/mcctb/lib/common/jsch.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/json.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/jsvc.zip is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/junixsocket-native-common.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-classic.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/logback-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mail-1.6.2.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mariadb-java-client.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb-mib.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mcctb.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/mockito-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/slf4j-api.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/snmp4j.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-aop.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-beans.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context-support.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-context.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-core.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-expression.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/spring-web.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/vault-java-driver.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/common/xz.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/lib/org.jacoco.agent-0.8.8-runtime.jar is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/mcctb-asup-invoke is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/mcctb_postrotate is Ok
opt/netapp/mcctb/bin/netapp-metrocluster-tiebreaker-software-cli
is Ok
/

```

```

Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software

```

```

Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Successfully upgraded NetApp MetroCluster Tiebreaker software to
version 1.6.
Cleaning up / removing...
2:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [100%]

```

Tiebreaker 1.5をインストール

ONTAP APIおよびSSHへの管理アクセスを設定します

ONTAP APIおよびSSHへの管理アクセスを設定できます。

手順

1. ONTAP APIアクセスを持つ管理者ユーザを作成します。 `security login create -user-or-group -name mcctb -application ontapi -authentication-method password`
2. SSHアクセスを持つ管理者ユーザを作成します。 `security login create -user-or-group-name mcctb -application ssh -authentication-method password`
3. 新しい管理者ユーザが作成されたことを確認します。 `security login show`
4. パートナークラスタで同じ手順を繰り返します。



"管理者認証と RBAC" が実装されます。

MetroCluster Tiebreaker 1.5の依存関係のインストール

Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストのLinuxオペレーティングシステムに応じて、MySQLサーバまたはMariaDBサーバをインストールする必要があります。

手順

1. [JDKのインストール](#)
2. [Vaultをインストールして設定します](#)
3. MySQL サーバまたは MariaDB サーバをインストールします。

Linux ホストの種類は、です	作業
Red Hat Enterprise Linux 7 / CentOS 7.	Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7にMySQL Server 5.5.30以降および5.6.xバージョンをインストールする
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8へのMariaDBサーバのインストール

JDKのインストール

Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムにJDKをインストールする必要があります。Tiebreaker 1.5以降では、OpenJDK 17、18、または19がサポートされます。

手順

1. 「root」 ユーザまたはadvanced権限モードに変更できるsudoユーザとしてログインします。

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2017 from host.domain.com
```

2. 使用可能なJDKバージョンを確認します

```
yum search openjdk
```

3. JDK 17、18、または19をインストールします。

次のコマンドを実行すると、JDK 17がインストールされます。

```
yum install java-17-openjdk
```

4. インストールを確認します。

```
java -version
```

インストールが正常に完了すると、次の出力が表示されます。

```
openjdk version "17.0.2" 2022-01-18 LTS
OpenJDK Runtime Environment 21.9 (build 17.0.2+8-LTS)
OpenJDK 64-Bit Server VM 21.9 (build 17.0.2+8-LTS, mixed mode, sharing)
```

Vaultをインストールして設定します

ローカルのボルトサーバーを持っていない場合、または使用する場合は、ボルトをインストールする必要があります。Vaultのインストールについては、この標準の手順を参照してください。別のガイドラインについては、Hashicorpのインストール手順を参照してください。



ネットワークにバックアップサーバがある場合は、そのバックアップを使用するようにMetroCluster Tiebreakerホストを設定できます。この場合、ホストにVaultをインストールする必要はありません。

手順

1. に移動します /bin ディレクトリ：

```
[root@mcctb] cd /bin
```

2. Vault zipファイルをダウンロードします。

```
[root@mcctb /bin]# curl -sO
https://releases.hashicorp.com/vault/1.12.2/vault_1.12.2_linux_amd64.zip
```

3. ボールトファイルを解凍します。

```
[root@mcctb /bin]# unzip vault_1.12.2_linux_amd64.zip
Archive:  vault_1.12.2_linux_amd64.zip
  inflating: vault
```

4. インストールを確認します。

```
[root@mcctb /bin]# vault -version
Vault v1.12.2 (415e1fe3118eebd5df6cb60d13defdc01aa17b03), built 2022-11-23T12:53:46Z
```

5. に移動します /root ディレクトリ：

```
[root@mcctb /bin] cd /root
```

6. ボルトコンフィギュレーションファイルを /root ディレクトリ。

で [root@mcctb ~] プロンプトが表示されたら、次のコマンドをコピーして実行し、 config.hcl ファイル：

```
# cat > config.hcl << EOF
storage "file" {
  address = "127.0.0.1:8500"
  path    = "/mcctb_vdata/data"
}
listener "tcp" {
  address     = "127.0.0.1:8200"
  tls_disable = 1
}
EOF
```

7. ボールトサーバーを起動します。

```
[root@mcctb ~] vault server -config config.hcl &
```

8. ボールトアドレスをエクスポートします。

```
[root@mcctb ~]# export VAULT_ADDR="http://127.0.0.1:8200"
```

9. Vaultを初期化します。

```
[root@mcctb ~]# vault operator init
2022-12-15T14:57:22.113+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2022-12-15T14:57:22.113+0530 [INFO] core: seal configuration missing,
not initialized
2022-12-15T14:57:22.114+0530 [INFO] core: security barrier not
initialized
2022-12-15T14:57:22.116+0530 [INFO] core: security barrier initialized:
stored=1 shares=5 threshold=3
2022-12-15T14:57:22.118+0530 [INFO] core: post-unseal setup starting
2022-12-15T14:57:22.137+0530 [INFO] core: loaded wrapping token key
2022-12-15T14:57:22.137+0530 [INFO] core: Recorded vault version: vault
version=1.12.2 upgrade time="2022-12-15 09:27:22.137200412 +0000 UTC"
build date=2022-11-23T12:53:46Z
2022-12-15T14:57:22.137+0530 [INFO] core: successfully setup plugin
catalog: plugin-directory=""
2022-12-15T14:57:22.137+0530 [INFO] core: no mounts; adding default
mount table
2022-12-15T14:57:22.143+0530 [INFO] core: successfully mounted backend:
type=cubbyhole version="" path=cubbyhole/
2022-12-15T14:57:22.144+0530 [INFO] core: successfully mounted backend:
type=system version="" path=sys/
2022-12-15T14:57:22.144+0530 [INFO] core: successfully mounted backend:
type=identity version="" path=identity/
2022-12-15T14:57:22.148+0530 [INFO] core: successfully enabled
credential backend: type=token version="" path=token/ namespace="ID:
root. Path: "
2022-12-15T14:57:22.149+0530 [INFO] rollback: starting rollback manager
2022-12-15T14:57:22.149+0530 [INFO] core: restoring leases
2022-12-15T14:57:22.150+0530 [INFO] expiration: lease restore complete
2022-12-15T14:57:22.150+0530 [INFO] identity: entities restored
2022-12-15T14:57:22.150+0530 [INFO] identity: groups restored
2022-12-15T14:57:22.151+0530 [INFO] core: usage gauge collection is
disabled
2022-12-15T14:57:23.385+0530 [INFO] core: post-unseal setup complete
2022-12-15T14:57:23.387+0530 [INFO] core: root token generated
2022-12-15T14:57:23.387+0530 [INFO] core: pre-seal teardown starting
2022-12-15T14:57:23.387+0530 [INFO] rollback: stopping rollback manager
2022-12-15T14:57:23.387+0530 [INFO] core: pre-seal teardown complete
Unseal Key 1: <unseal_key_1_id>
Unseal Key 2: <unseal_key_2_id>
Unseal Key 3: <unseal_key_3_id>
Unseal Key 4: <unseal_key_4_id>
Unseal Key 5: <unseal_key_5_id>
```

```
Initial Root Token: <initial_root_token_id>
```

Vault initialized with 5 key shares and a key threshold of 3. Please securely distribute the key shares printed above. When the Vault is re-sealed, restarted, or stopped, you must supply at least 3 of these keys to unseal it before it can start servicing requests.

Vault does not store the generated root key. Without at least 3 keys to reconstruct the root key, Vault will remain permanently sealed!

It is possible to generate new unseal keys, provided you have a quorum of existing unseal keys shares. See "vault operator rekey" for more information.



キーIDと初期ルートトークンは、後で手順でできるように、記録して安全な場所に保存する必要があります。

10. ボールトルートトークンをエクスポートします。

```
[root@mcctb ~]# export VAULT_TOKEN="<initial_root_token_id>"
```

11. 作成された5つのキーのうち3つを使用してVaultのシールを解除します。

を実行する必要があります vault operator unseal 3つのキーそれぞれに対して次のコマンドを実行します。

- a. 最初のキーを使用してボールトのシールを解除します。

```
[root@mcctb ~]# vault operator unseal
Unseal Key (will be hidden):
Key                               Value
---                               -
Seal Type                         shamir
Initialized                       true
Sealed                           true
Total Shares                     5
Threshold                        3
Unseal Progress                  1/3
Unseal Nonce                     <unseal_key_1_id>
Version                          1.12.2
Build Date                       2022-11-23T12:53:46Z
Storage Type                     file
HA Enabled                       false
```

b. 2番目のキーを使用してボルトのシールを解除します。

```
[root@mcctb ~]# vault operator unseal
Unseal Key (will be hidden):
Key                               Value
---                               -
Seal Type                         shamir
Initialized                       true
Sealed                           true
Total Shares                     5
Threshold                        3
Unseal Progress                  2/3
Unseal Nonce                     <unseal_key_2_id>
Version                          1.12.2
Build Date                       2022-11-23T12:53:46Z
Storage Type                     file
HA Enabled                       false
```

c. 3番目のキーを使用してボルトのシールを解除します。

```
[root@mcctb ~]# vault operator unseal
Unseal Key (will be hidden):
2022-12-15T15:15:00.980+0530 [INFO] core.cluster-listener.tcp:
starting listener: listener_address=127.0.0.1:8201
2022-12-15T15:15:00.980+0530 [INFO] core.cluster-listener: serving
cluster requests: cluster_listen_address=127.0.0.1:8201
2022-12-15T15:15:00.981+0530 [INFO] core: post-unseal setup starting
2022-12-15T15:15:00.981+0530 [INFO] core: loaded wrapping token key
2022-12-15T15:15:00.982+0530 [INFO] core: successfully setup plugin
catalog: plugin-directory=""
2022-12-15T15:15:00.983+0530 [INFO] core: successfully mounted
backend: type=system version="" path=sys/
2022-12-15T15:15:00.984+0530 [INFO] core: successfully mounted
backend: type=identity version="" path=identity/
2022-12-15T15:15:00.984+0530 [INFO] core: successfully mounted
backend: type=cubbyhole version="" path=cubbyhole/
2022-12-15T15:15:00.986+0530 [INFO] core: successfully enabled
credential backend: type=token version="" path=token/ namespace="ID:
root. Path: "
2022-12-15T15:15:00.986+0530 [INFO] rollback: starting rollback
manager
2022-12-15T15:15:00.987+0530 [INFO] core: restoring leases
2022-12-15T15:15:00.987+0530 [INFO] expiration: lease restore
complete
2022-12-15T15:15:00.987+0530 [INFO] identity: entities restored
2022-12-15T15:15:00.987+0530 [INFO] identity: groups restored
2022-12-15T15:15:00.988+0530 [INFO] core: usage gauge collection is
disabled
2022-12-15T15:15:00.989+0530 [INFO] core: post-unseal setup complete
2022-12-15T15:15:00.989+0530 [INFO] core: vault is unsealed
Key          Value
---          -
Seal Type    shamir
Initialized   true
Sealed       false
Total Shares  5
Threshold    3
Version      1.12.2
Build Date   2022-11-23T12:53:46Z
Storage Type  file
Cluster Name  vault-cluster
Cluster ID    <cluster_id>
HA Enabled    false
```

12. Vault sealedステータスがfalseであることを確認します。


```
[root@mcctb ~]# vault status
Key          Value
---          -
Seal Type    shamir
Initialized  true
Sealed       false
Total Shares 5
Threshold    3
Version      1.12.2
Build Date   2022-11-23T12:53:46Z
Storage Type file
Cluster Name vault-cluster
Cluster ID   <cluster_id>
HA Enabled   false
```

13. 起動時に起動するようにVaultサービスを設定します。

- a. 次のコマンドを実行します。 `cd /etc/systemd/system`

```
[root@mcctb ~]# cd /etc/systemd/system
```

- b. で `[root@mcctb system]` 次のコマンドをプロンプト表示し、コピーして実行して、ボールドサービスファイルを作成します。

```
# cat > vault.service << EOF
[Unit]
Description=Vault Service
After=mariadb.service

[Service]
Type=forking
ExecStart=/usr/bin/vault server -config /root/config.hcl &
Restart=on-failure

[Install]
WantedBy=multi-user.target
EOF
```

- c. 次のコマンドを実行します。 `systemctl daemon-reload`

```
[root@mcctb system]# systemctl daemon-reload
```

- d. 次のコマンドを実行します。 `systemctl enable vault.service`

```
[root@mcctb system]# systemctl enable vault.service
Created symlink /etc/systemd/system/multi-
user.target.wants/vault.service → /etc/systemd/system/vault.service.
```



MetroCluster Tiebreakerのインストール時に、この機能を使用するように求められます。Vaultのシールを解除する方法を変更する場合は、MetroCluster Tiebreakerソフトウェアをアンインストールして再インストールする必要があります。

Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7にMySQL Server 5.5.30以降および5.6.xバージョンをインストールする

Tiebreaker ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムに MySQL Server 5.5.30 以降および 5.6.x バージョンをインストールする必要があります。Red Hat Enterprise Linux 8の場合は、[MariaDBサーバーのインストール](#)。

手順

1. rootユーザまたはadvanced権限モードに変更できるsudoユーザとしてログインします。

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2016 from host.domain.com
```

2. ホストシステムに MySQL リポジトリを追加します。

```
[root@mcctb~]#yum localinstall\https://dev.mysql.com/get/mysql57-community-
release-el6-11.noarch.rpm
```

```

Loaded plugins: product-id, refresh-packagekit, security, subscription-
manager
Setting up Local Package Process
Examining /var/tmp/yum-root-LLUw0r/mysql-community-release-el6-
5.noarch.rpm: mysql-community-release-el6-5.noarch
Marking /var/tmp/yum-root-LLUw0r/mysql-community-release-el6-
5.noarch.rpm to be installed
Resolving Dependencies
--> Running transaction check
---> Package mysql-community-release.noarch 0:el6-5 will be installed
--> Finished Dependency Resolution
Dependencies Resolved

=====
=====
Package                Arch    Version
                               Repository
Size
=====
=====
Installing:
mysql-community-release
                               noarch el6-5 /mysql-community-release-el6-
5.noarch 4.3 k
Transaction Summary
=====
=====
Install      1 Package(s)
Total size: 4.3 k
Installed size: 4.3 k
Is this ok [y/N]: y
Downloading Packages:
Running rpm_check_debug
Running Transaction Test
Transaction Test Succeeded
Running Transaction
   Installing : mysql-community-release-el6-5.noarch
1/1
   Verifying   : mysql-community-release-el6-5.noarch
1/1
Installed:
   mysql-community-release.noarch 0:el6-5
Complete!

```

3. MySQL 57リポジトリを無効にします。

```
[root@mcctb~]#yum-config -manager-disable mysql57-community
```

4. MySQL 56リポジトリを有効にします。

```
[root@mcctb~]#yum-config -manager-enable mysql56-community
```

5. リポジトリを有効にします。

```
[root@mcctb~]# yum repolist enabled | grep "mysql.-community."
```

```
mysql-connectors-community      MySQL Connectors Community
21
mysql-tools-community          MySQL Tools Community
35
mysql56-community              MySQL 5.6 Community Server
231
```

6. MySQL Community Server をインストールします。

```
[root@mcctb~]# yum は mysql-community-server をインストールします
```

```
Loaded plugins: product-id, refresh-packagekit, security, subscription-
manager
This system is not registered to Red Hat Subscription Management. You
can use subscription-manager
to register.
Setting up Install Process
Resolving Dependencies
--> Running transaction check
.....Output truncated.....
---> Package mysql-community-libs-compat.x86_64 0:5.6.29-2.el6 will be
obsoleting
--> Finished Dependency Resolution
Dependencies Resolved

=====
=====
Package                               Arch    Version      Repository
Size
=====
=====
Installing:
mysql-community-client                x86_64   5.6.29-2.el6  mysql56-community
18 M
    replacing mysql.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-libs                   x86_64   5.6.29-2.el6  mysql56-community
1.9 M
```

```

replacing mysql-libs.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-libs-compat      x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
1.6 M
replacing mysql-libs.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-server           x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
53 M
replacing mysql-server.x86_64 5.1.71-1.el6
Installing for dependencies:
mysql-community-common           x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
308 k

Transaction Summary
=====
=====
Install                5 Package(s)
Total download size: 74 M
Is this ok [y/N]: y
Downloading Packages:
(1/5): mysql-community-client-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm      | 18 MB
00:28
(2/5): mysql-community-common-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm      | 308 kB
00:01
(3/5): mysql-community-libs-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm       | 1.9 MB
00:05
(4/5): mysql-community-libs-compat-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm | 1.6 MB
00:05
(5/5): mysql-community-server-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm     | 53 MB
03:42
-----
-----
Total                                     289 kB/s | 74 MB
04:24
warning: rpmts_HdrFromFdno: Header V3 DSA/SHA1 Signature, key ID
<key_id> NOKEY
Retrieving key from file:/etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-mysql
Importing GPG key 0x5072E1F5:
  Userid : MySQL Release Engineering <mysql-build@oss.oracle.com>
Package: mysql-community-release-el6-5.noarch
        (@/mysql-community-release-el6-5.noarch)
From    : file:/etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-mysql
Is this ok [y/N]: y
Running rpm_check_debug
Running Transaction Test
Transaction Test Succeeded
Running Transaction
  Installing : mysql-community-common-5.6.29-2.el6.x86_64

```

```
....Output truncated....
1.el6.x86_64
7/8
  Verifying   : mysql-5.1.71-1.el6.x86_64
8/8
Installed:
  mysql-community-client.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-libs.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-libs-compat.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-server.x86_64 0:5.6.29-2.el6

Dependency Installed:
  mysql-community-common.x86_64 0:5.6.29-2.el6

Replaced:
  mysql.x86_64 0:5.1.71-1.el6 mysql-libs.x86_64 0:5.1.71-1.el6
  mysql-server.x86_64 0:5.1.71-1.el6
Complete!
```

7. MySQL サーバを起動します。

```
[root@mcctb~]# サービス mysqld 開始日
```

```
Initializing MySQL database: 2016-04-05 19:44:38 0 [Warning] TIMESTAMP
with implicit DEFAULT value is deprecated. Please use
--explicit_defaults_for_timestamp server option (see documentation
for more details).
2016-04-05 19:44:38 0 [Note] /usr/sbin/mysqld (mysqld 5.6.29)
      starting as process 2487 ...
2016-04-05 19:44:38 2487 [Note] InnoDB: Using atomics to ref count
      buffer pool pages
2016-04-05 19:44:38 2487 [Note] InnoDB: The InnoDB memory heap is
disabled
....Output truncated....
2016-04-05 19:44:42 2509 [Note] InnoDB: Shutdown completed; log sequence
      number 1625987
```

PLEASE REMEMBER TO SET A PASSWORD FOR THE MySQL root USER!
To do so, start the server, then issue the following commands:

```
/usr/bin/mysqladmin -u root password 'new-password'
/usr/bin/mysqladmin -u root -h mcctb password 'new-password'
```

Alternatively, you can run:

```
/usr/bin/mysql_secure_installation
```

which will also give you the option of removing the test
databases and anonymous user created by default. This is
strongly recommended for production servers.

.....Output truncated.....

WARNING: Default config file /etc/my.cnf exists on the system
This file will be read by default by the MySQL server
If you do not want to use this, either remove it, or use the
--defaults-file argument to mysqld_safe when starting the server

```
Starting mysqld: [ OK ]
```

8. MySQL サーバが実行されていることを確認します。

```
[root@mcctb~]# サービス mysqld ステータス
```

```
mysqld (pid 2739) is running...
```

9. セキュリティとパスワードを設定します。

```
[root@mcctb~]# mysql_secure_install
```

NOTE: RUNNING ALL PARTS OF THIS SCRIPT IS RECOMMENDED FOR ALL MySQL
SERVERS IN PRODUCTION USE! PLEASE READ EACH STEP CAREFULLY!

In order to log into MySQL to secure it, we'll need the current password for the root user. If you've just installed MySQL, and you haven't set the root password yet, the password will be blank, so you should just press enter here.

Enter current password for root (enter for none): <== on default
install

hit enter here

OK, successfully used password, moving on...

Setting the root password ensures that nobody can log into the MySQL root user without the proper authorization.

Set root password? [Y/n] y

New password:

Re-enter new password:

Password updated successfully!

Reloading privilege tables..

... Success!

By default, a MySQL installation has an anonymous user, allowing anyone to log into MySQL without having to have a user account created for them. This is intended only for testing, and to make the installation go a bit smoother. You should remove them before moving into a production environment.

Remove anonymous users? [Y/n] y

... Success!

Normally, root should only be allowed to connect from 'localhost'.
This

ensures that someone cannot guess at the root password from the network.

Disallow root login remotely? [Y/n] y

... Success!

By default, MySQL comes with a database named 'test' that anyone can access. This is also intended only for testing, and should be removed before moving into a production environment.

Remove test database and access to it? [Y/n] y

- Dropping test database...

ERROR 1008 (HY000) at line 1: Can't drop database 'test';


```
database doesn't exist
```

```
... Failed! Not critical, keep moving...
```

```
- Removing privileges on test database...
```

```
... Success!
```

Reloading the privilege tables will ensure that all changes made so far will take effect immediately.

```
Reload privilege tables now? [Y/n] y
```

```
... Success!
```

All done! If you've completed all of the above steps, your MySQL installation should now be secure.

Thanks for using MySQL!

Cleaning up...

10. MySQL ログインが機能していることを確認します。

```
「 [root@mcctb~]#mysql-u root -p`
```

```
Enter password: <configured_password>
```

```
Welcome to the MySQL monitor. Commands end with ; or \g.
```

```
Your MySQL connection id is 17
```

```
Server version: 5.6.29 MySQL Community Server (GPL)
```

```
Copyright (c) 2000, 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
```

```
Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.
```

```
Type 'help;' or '\h' for help. Type '\c' to clear the current input statement.
```

```
mysql>
```

MySQL ログインが動作している場合、出力は「MySQL>」プロンプトで終了します。

MySQLの自動起動設定を有効にする

MySQLデーモンに対して自動起動機能が有効になっていることを確認する必要があります。MySQLデーモンを有効にすると、MetroCluster Tiebreaker ソフトウェアがインストールされているシステムがリブートした場合にMySQLが自動的に再起動されます。MySQLデーモンが実行されていない場合、Tiebreakerソフトウェアは引き続き実行されますが、再起動したり設定を変更したりすることはできません。

ステップ

1. MySQL がブート時に自動で起動することが有効になっていることを確認します

「`[root@mcctb~]# systemctl list-bunty-files mysqld.service``」と入力します

```
UNIT FILE                                State
-----
mysqld.service                          enabled
```

ブート時に MySQL を自動で起動することが有効になっていない場合は、MySQL のドキュメントを参照して、自動起動機能を有効にしてください。

Red Hat Enterprise Linux 8へのMariaDBサーバのインストール

Tiebreaker ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムに MariaDB サーバをインストールする必要があります。Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7の場合：[MySQL Serverのインストール](#)。

作業を開始する前に

ホストシステムが Red Hat Enterprise Linux （RHEL）8 で実行されている必要があります。

手順

1. としてログインします root ユーザまたはadvanced権限モードでsudoを実行できるユーザ。

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2017 from host.domain.com
```

2. MariaDBサーバをインストールします。

「`[root@mcctb~]#yum は MariaDB -server.x86_64 をインストールします`

```
[root@mcctb ~]# yum install mariadb-server.x86_64
Loaded plugins: fastestmirror, langpacks
...
...

=====
===
Package                                Arch  Version                                Repository
Size
=====
Installing:
mariadb-server                        x86_64  1:5.5.56-2.el7                        base
```

```

11 M
Installing for dependencies:

Transaction Summary
=====
===
Install 1 Package (+8 Dependent packages)
Upgrade      ( 1 Dependent package)

Total download size: 22 M
Is this ok [y/d/N]: y

Downloading packages:
No Presto metadata available for base warning:
/var/cache/yum/x86_64/7/base/packages/mariadb-libs-5.5.56-
2.el7.x86_64.rpm:
Header V3 RSA/SHA256 Signature,
key ID f4a80eb5: NOKEY] 1.4 MB/s | 3.3 MB 00:00:13 ETA
Public key for mariadb-libs-5.5.56-2.el7.x86_64.rpm is not installed
(1/10): mariadb-libs-5.5.56-2.el7.x86_64.rpm | 757 kB 00:00:01
..
..
(10/10): perl-Net-Daemon-0.48-5.el7.noarch.rpm | 51 kB 00:00:01
-----
-----
Installed:
    mariadb-server.x86_64 1:5.5.56-2.el7

Dependency Installed:
mariadb.x86_64 1:5.5.56-2.el7
perl-Compress-Raw-Bzip2.x86_64 0:2.061-3.el7
perl-Compress-Raw-Zlib.x86_64 1:2.061-4.el7
perl-DBD-MySQL.x86_64 0:4.023-5.el7
perl-DBI.x86_64 0:1.627-4.el7
perl-IO-Compress.noarch 0:2.061-2.el7
perl-Net-Daemon.noarch 0:0.48-5.el7
perl-PlRPC.noarch 0:0.2020-14.el7

Dependency Updated:
    mariadb-libs.x86_64 1:5.5.56-2.el7
Complete!

```

3. MariaDB サーバを起動します。

「[root@mcctb~]# systemctl start MariaDB」

4. MariaDBサーバが起動したことを確認します。

「 [root@mcctb~]# systemctl status MariaDB 」

```
[root@mcctb ~]# systemctl status mariadb
mariadb.service - MariaDB database server
...
Nov 08 21:28:59 mcctb systemd[1]: Starting MariaDB database server...
...
Nov 08 21:29:01 mcctb systemd[1]: Started MariaDB database server.
```

5. セキュリティとパスワードを設定します。



rootパスワードの入力を求められたら、空のままEnterキーを押してセキュリティとパスワードの設定を続行します。

[root@mcctb~]#mysql_secure_install

```
root@localhost systemd]# mysql_secure_installation
```

```
NOTE: RUNNING ALL PARTS OF THIS SCRIPT IS RECOMMENDED FOR ALL MariaDB
SERVERS IN PRODUCTION USE! PLEASE READ EACH STEP CAREFULLY!
```

```
In order to log into MariaDB to secure it, we'll need the current
password for the root user. If you've just installed MariaDB, and
you haven't set the root password yet, the password will be blank,
so you should just press enter here.
```

```
Enter current password for root (enter for none):
OK, successfully used password, moving on...
```

```
Setting the root password ensures that nobody can log into the MariaDB
root user without the proper authorisation.
```

```
Set root password? [Y/n] y
```

```
New password:
```

```
Re-enter new password:
```

```
Password updated successfully!
Reloading privilege tables..
... Success!
```

```
By default, a MariaDB installation has an anonymous user, allowing
anyone
to log into MariaDB without having to have a user account created for
```

them. This is intended only for testing, and to make the installation go a bit smoother. You should remove them before moving into a production environment.

Remove anonymous users? [Y/n] y

... Success!

Normally, root should only be allowed to connect from 'localhost'. This ensures that someone cannot guess at the root password from the network.

Disallow root login remotely? [Y/n] y

... Success!

By default, MariaDB comes with a database named 'test' that anyone can access. This is also intended only for testing, and should be removed before moving into a production environment.

Remove test database and access to it? [Y/n] y

- Dropping test database...
... Success!
- Removing privileges on test database...
... Success!

Reloading the privilege tables will ensure that all changes made so far will take effect immediately.

Reload privilege tables now? [Y/n]

... Success!

Cleaning up...

All done! If you've completed all of the above steps, your MariaDB installation should now be secure.

Thanks for using MariaDB!

MariaDBサーバの自動起動設定を有効にする

MariaDBサーバで自動起動機能がオンになっていることを確認する必要があります。自動起動機能を有効にし
ておらず、MetroCluster Tiebreaker ソフトウェアがインストールされているシステムをリブートする必要がある場合、Tiebreaker ソフトウェアは引き続き実行されますが、MariaDB サービスを再起動できず、設定を変更できません。

手順

1. 自動起動サービスを有効にします。

「`[root@mcctb~]# systemctl enable mariadb.service``」を参照してください

2. ブート時に MariaDB が自動で起動できることを確認します。

「`[root@mcctb~]# systemctl list-busy-files mariadb.service``」と入力します

```
UNIT FILE                                State
-----
mariadb.service                          enabled
```

Tiebreaker 1.5のインストールまたはアップグレード

MetroCluster構成を監視するには、ホストLinuxオペレーティングシステムでTiebreaker 1.5の新規インストールまたはアップグレードを実行します。

このタスクについて

- サポートされているバージョンのONTAPがストレージシステムで実行されている必要があります。を参照してください ["ソフトウェア要件"](#) 詳細については、表を参照してください。
- を使用してOpenJDKをインストールしておく必要があります `yum install java-x.x.x-openjdk` コマンドを実行しますTiebreaker 1.5以降では、OpenJDK 17、18、または19がサポートされます。
- MetroCluster Tiebreakerは、Tiebreakerのインストール、テーブルとユーザの作成、ユーザパスワードの設定に必要な管理権限を持つroot以外のユーザとしてインストールできます。

手順

1. MetroCluster TiebreakerソフトウェアとMetroCluster_Tiebreaker_RPM_GPGキーをダウンロードします。



MetroCluster_Tiebreaker_RPM_GPGキーは、Tiebreaker 1.5のソフトウェアパッケージをNetApp Support Siteからダウンロードするときと同じページからダウンロードできます。

["MetroCluster Tiebreaker（ダウンロード） - NetApp Support Site"](#)

2. root ユーザとしてホストにログインします。
3. root以外のユーザを作成し、mcctbgrp グループ：
 - a. root以外のユーザを作成し、パスワードを設定します。

次の例は、という名前のroot以外のユーザを作成します。mcctbuser1：

```
[root@mcctb ~]# useradd mcctbuser1
[root@mcctb ~]# passwd mcctbuser1
Changing password for user mcctbuser1.
New password:
Retype new password:
passwd: all authentication tokens updated successfully.
```

- b. という名前のグループを作成します。mcctbgrp：

```
[root@mcctb ~]# groupadd mcctbgrp
```

- c. 作成したroot以外のユーザをに追加します。mcctbgrp グループ：

次のコマンドでは、mcctbuser1 に移動します mcctbgrp グループ：

```
[root@mcctb ~]# usermod -a -G mcctbgrp mcctbuser1
```

4. RPMファイルを確認します。

RPMキーが格納されているディレクトリから、次の手順を実行します。

- a. RPMキーファイルをダウンロードしてインポートします。

```
[root@mcctb ~]# rpm --import MetroCluster_Tiebreaker_RPM_GPG.key
```

- b. フィンガープリントをチェックして、正しいキーがインポートされたことを確認します。

次の例は、正しいキーフィンガープリントを示しています。

```
root@mcctb:~/signing/mcctb-rpms# gpg --show-keys --with-fingerprint
MetroCluster_Tiebreaker_RPM_GPG.key
pub   rsa3072 2022-11-17 [SCEA] [expires: 2025-11-16]
       65AC 1562 E28A 1497 7BBD  7251 2855 EB02 3E77 FAE5
uid           MCCTB-RPM (mcctb RPM production signing)
<mcctb-rpm@netapp.com>
```

- a. 署名を確認します。rpm --checksig NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.5-1.x86_64.rpm

```
NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.5-1.x86_64.rpm: digests OK
```



署名を正常に検証してからインストールを続行する必要があります。

5. `[[install-tiebreaker]]` Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。



Tiebreakerバージョン1.4からアップグレードする場合は、Tiebreakerバージョン1.5にのみアップグレードできます。以前のバージョンからTiebreaker 1.5へのアップグレードはサポートされていません。

新規インストールを実行するか、既存のインストールをアップグレードするかに応じて、正しい手順を選択します。

新規インストールを実行します

- a. Javaの絶対パスを取得して記録します。

```
[root@mcctb ~]# readlink -f /usr/bin/java  
/usr/lib/jvm/java-19-openjdk-19.0.0.0.36-  
2.rolling.el8.x86_64/bin/java
```

- b. 次のコマンドを実行します。 rpm -ivh NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.5-1.x86_64.rpm

インストールが完了すると、次の出力が表示されます。



インストール中にプロンプトが表示されたら、以前に作成してに割り当てたroot以外のユーザを指定します。 mcctbgrp グループ：

```

Verifying...
##### [100%]
Preparing...
##### [100%]
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [100%]
Enter the absolute path for Java : /usr/lib/jvm/java-19-openjdk-
19.0.0.0.36-2.rolling.el8.x86_64/bin/java
Verifying if Java exists...
Found Java. Proceeding with the installation.
Enter host user account to use for the installation:
mcctbuser1
User account mcctbuser1 found. Proceeding with the installation
Enter database user name:
root
Please enter database password for root
Enter password:
Sealed          false
Do you wish to auto unseal vault(y/n)?y
Enter the key1:
Enter the key2:
Enter the key3:
Success! Uploaded policy: mcctb-policy
Error enabling approle auth: Error making API request.
URL: POST http://127.0.0.1:8200/v1/sys/auth/approle
Code: 400. Errors:
* path is already in use at approle/
Success! Enabled the kv secrets engine at: mcctb/
Success! Data written to: auth/approle/role/mcctb-app
Password updated successfully in the vault.
Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
Created symlink /etc/systemd/system/multi-
user.target.wants/netapp-metrocluster-tiebreaker-software.service
→ /etc/systemd/system/netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service.
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Successfully installed NetApp MetroCluster Tiebreaker software
version 1.5.

```

既存のインストールをアップグレードする

- a. サポートされているバージョンのOpenJDKがインストールされていること、およびホストにある現在のJavaバージョンであることを確認します。



Tiebreaker 1.5にアップグレードするには、OpenJDKバージョン17、18、または19をインストールする必要があります。

```
[root@mcctb ~]# readlink -f /usr/bin/java
/usr/lib/jvm/java-19-openjdk-19.0.0.36-
2.rolling.el8.x86_64/bin/java
```

- b. Vaultサービスが封印されておらず、実行されていることを確認します。 `vault status`

```
[root@mcctb ~]# vault status
Key          Value
---          -
Seal Type    shamir
Initialized  true
Sealed       false
Total Shares 5
Threshold    3
Version      1.12.2
Build Date   2022-11-23T12:53:46Z
Storage Type  file
Cluster Name  vault
Cluster ID    <cluster_id>
HA Enabled    false
```

- c. Tiebreakerソフトウェアをアップグレードします。

```
[root@mcctb ~]# rpm -Uvh NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-
1.5-1.x86_64.rpm
```

アップグレードが完了すると、次の出力が表示されます。

```

Verifying...
##### [100%]
Preparing...
##### [100%]
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [ 50%]

Enter the absolute path for Java : /usr/lib/jvm/java-19-openjdk-
19.0.0.0.36-2.rolling.el8.x86_64/bin/java
Verifying if Java exists...
Found Java. Proceeding with the installation.
Enter host user account to use for the installation:
mcctbuser1
User account mcctbuser1 found. Proceeding with the installation
Sealed          false
Do you wish to auto unseal vault(y/n)?y
Enter the key1:
Enter the key2:
Enter the key3:
Success! Uploaded policy: mcctb-policy
Error enabling approle auth: Error making API request.
URL: POST http://127.0.0.1:8200/v1/sys/auth/approle
Code: 400. Errors:
* path is already in use at approle/
Success! Enabled the kv secrets engine at: mcctb/
Success! Data written to: auth/approle/role/mcctb-app
Enter database user name : root
Please enter database password for root
Enter password:
Password updated successfully in the database.
Password updated successfully in the vault.
Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Successfully upgraded NetApp MetroCluster Tiebreaker software to
version 1.5.
Cleaning up / removing...
  2:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [100%]

```



誤った MySQL ルートパスワードを入力すると、Tiebreaker ソフトウェアのインストールが完了したことが通知されますが、Access denied メッセージが表示されます。問題を解決するには 'rpm -e コマンドを使用して Tiebreaker ソフトウェアをアンインストールし' 正しい MySQL ルート・パスワードを使用してソフトウェアを再インストールする必要があります

6. Tiebreakerホストから各ノード管理LIFおよびクラスタ管理LIFへのSSH接続を開き、MetroCluster ソフトウェアへのTiebreakerの接続を確認します。

関連情報

["ネットアップサポート"](#)

Tiebreaker 1.4のインストール

MetroCluster Tiebreaker 1.4の依存関係のインストール

Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストのLinuxオペレーティングシステムに応じて、MySQLサーバまたはMariaDBサーバをインストールします。

手順

1. [JDKのインストール](#)。
2. MySQL サーバまたは MariaDB サーバをインストールします。

Linux ホストの種類は、です	作業
Red Hat Enterprise Linux 7 / CentOS 7.	Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7にMySQL Server 5.5.30以降および5.6.xバージョンをインストールする
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8へのMariaDBサーバのインストール

JDKのインストール

Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムにJDKをインストールする必要があります。Tiebreaker 1.4以前では、JDK 1.8.0がサポートされています。（JRE 8）。

手順

1. 「root」 ユーザとしてログインします。

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2017 from host.domain.com
```

2. JDK 1.8.0をインストールします。

```
yum install java-1.8.0-openjdk.x86_64
```

```
[root@mcctb ~]# yum install java-1.8.0-openjdk.x86_64
Loaded plugins: fastestmirror, langpacks
Loading mirror speeds from cached hostfile
... shortened....
Dependencies Resolved

=====
Package                        Arch      Version                               Repository      Size
=====
Installing:
  java-1.8.0-openjdk           x86_64    1:1.8.0.144-0.b01.el7_4             updates        238 k
  ..
  ..
Transaction Summary
=====
Install 1 Package (+ 4 Dependent packages)

Total download size: 34 M
Is this ok [y/d/N]: y

Installed:
java-1.8.0-openjdk.x86_64 1:1.8.0.144-0.b01.el7_4
Complete!
```

Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7にMySQL Server 5.5.30以降および5.6.xバージョンをインストールする

Tiebreaker ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムに MySQL Server 5.5.30 以降および 5.6.x バージョンをインストールする必要があります。Red Hat Enterprise Linux 8の場合は、[MariaDBサーバのインストール](#)。

手順

1. root ユーザとしてログインします。

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2016 from host.domain.com
```

2. ホストシステムに MySQL リポジトリを追加します。

```
[root@mcctb~]#yum localinstall\https://dev.mysql.com/get/mysql57-community-release-el6-11.noarch.rpm
```

```

Loaded plugins: product-id, refresh-packagekit, security, subscription-
manager
Setting up Local Package Process
Examining /var/tmp/yum-root-LLUw0r/mysql-community-release-el6-
5.noarch.rpm: mysql-community-release-el6-5.noarch
Marking /var/tmp/yum-root-LLUw0r/mysql-community-release-el6-
5.noarch.rpm to be installed
Resolving Dependencies
--> Running transaction check
---> Package mysql-community-release.noarch 0:el6-5 will be installed
--> Finished Dependency Resolution
Dependencies Resolved

=====
=====
Package                Arch    Version
                               Repository
Size
=====
=====
Installing:
mysql-community-release
                               noarch el6-5 /mysql-community-release-el6-
5.noarch 4.3 k
Transaction Summary
=====
=====
Install                1 Package(s)
Total size: 4.3 k
Installed size: 4.3 k
Is this ok [y/N]: y
Downloading Packages:
Running rpm_check_debug
Running Transaction Test
Transaction Test Succeeded
Running Transaction
   Installing : mysql-community-release-el6-5.noarch
1/1
   Verifying   : mysql-community-release-el6-5.noarch
1/1
Installed:
   mysql-community-release.noarch 0:el6-5
Complete!

```

3. MySQL 57リポジトリを無効にします。

```
[root@mcctb~]#yum-config -manager-disable mysql57-community
```

4. MySQL 56リポジトリを有効にします。

```
[root@mcctb~]#yum-config -manager-enable mysql56-community
```

5. リポジトリを有効にします。

```
[root@mcctb~]# yum repolist enabled | grep "mysql.-community."
```

```
mysql-connectors-community      MySQL Connectors Community
21
mysql-tools-community           MySQL Tools Community
35
mysql56-community               MySQL 5.6 Community Server
231
```

6. MySQL Community Server をインストールします。

```
[root@mcctb~]# yum は mysql-community-server をインストールします
```

```
Loaded plugins: product-id, refresh-packagekit, security, subscription-
manager
This system is not registered to Red Hat Subscription Management. You
can use subscription-manager
to register.
Setting up Install Process
Resolving Dependencies
--> Running transaction check
.....Output truncated.....
---> Package mysql-community-libs-compat.x86_64 0:5.6.29-2.el6 will be
obsoleting
--> Finished Dependency Resolution
Dependencies Resolved

=====
=====
Package                               Arch    Version              Repository
Size
=====
=====
Installing:
mysql-community-client                x86_64  5.6.29-2.el6         mysql56-community
18 M
    replacing mysql.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-libs                  x86_64  5.6.29-2.el6         mysql56-community
1.9 M
```



```

replacing mysql-libs.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-libs-compat      x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
1.6 M
replacing mysql-libs.x86_64 5.1.71-1.el6
mysql-community-server           x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
53 M
replacing mysql-server.x86_64 5.1.71-1.el6
Installing for dependencies:
mysql-community-common           x86_64  5.6.29-2.el6  mysql56-community
308 k

Transaction Summary
=====
=====
Install                5 Package(s)
Total download size: 74 M
Is this ok [y/N]: y
Downloading Packages:
(1/5): mysql-community-client-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm      | 18 MB
00:28
(2/5): mysql-community-common-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm      | 308 kB
00:01
(3/5): mysql-community-libs-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm        | 1.9 MB
00:05
(4/5): mysql-community-libs-compat-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm | 1.6 MB
00:05
(5/5): mysql-community-server-5.6.29-2.el6.x86_64.rpm      | 53 MB
03:42
-----
-----
Total                                289 kB/s | 74 MB
04:24
warning: rpmts_HdrFromFdno: Header V3 DSA/SHA1 Signature, key ID
<key_id> NOKEY
Retrieving key from file:/etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-mysql
Importing GPG key 0x5072E1F5:
  Userid : MySQL Release Engineering <mysql-build@oss.oracle.com>
Package: mysql-community-release-el6-5.noarch
        (@/mysql-community-release-el6-5.noarch)
From    : file:/etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-mysql
Is this ok [y/N]: y
Running rpm_check_debug
Running Transaction Test
Transaction Test Succeeded
Running Transaction
  Installing : mysql-community-common-5.6.29-2.el6.x86_64

```

```
....Output truncated....
1.el6.x86_64
7/8
  Verifying   : mysql-5.1.71-1.el6.x86_64
8/8
Installed:
  mysql-community-client.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-libs.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-libs-compat.x86_64 0:5.6.29-2.el6
  mysql-community-server.x86_64 0:5.6.29-2.el6

Dependency Installed:
  mysql-community-common.x86_64 0:5.6.29-2.el6

Replaced:
  mysql.x86_64 0:5.1.71-1.el6 mysql-libs.x86_64 0:5.1.71-1.el6
  mysql-server.x86_64 0:5.1.71-1.el6
Complete!
```

7. MySQL サーバを起動します。

```
[root@mcctb~]# サービス mysqld 開始日
```

```
Initializing MySQL database: 2016-04-05 19:44:38 0 [Warning] TIMESTAMP
with implicit DEFAULT value is deprecated. Please use
--explicit_defaults_for_timestamp server option (see documentation
for more details).
2016-04-05 19:44:38 0 [Note] /usr/sbin/mysqld (mysqld 5.6.29)
      starting as process 2487 ...
2016-04-05 19:44:38 2487 [Note] InnoDB: Using atomics to ref count
      buffer pool pages
2016-04-05 19:44:38 2487 [Note] InnoDB: The InnoDB memory heap is
disabled
....Output truncated....
2016-04-05 19:44:42 2509 [Note] InnoDB: Shutdown completed; log sequence
      number 1625987
```

PLEASE REMEMBER TO SET A PASSWORD FOR THE MySQL root USER!
To do so, start the server, then issue the following commands:

```
/usr/bin/mysqladmin -u root password 'new-password'
/usr/bin/mysqladmin -u root -h mcctb password 'new-password'
```

Alternatively, you can run:

```
/usr/bin/mysql_secure_installation
```

which will also give you the option of removing the test
databases and anonymous user created by default. This is
strongly recommended for production servers.

.....Output truncated.....

WARNING: Default config file /etc/my.cnf exists on the system
This file will be read by default by the MySQL server
If you do not want to use this, either remove it, or use the
--defaults-file argument to mysqld_safe when starting the server

```
Starting mysqld: [ OK ]
```

8. MySQL サーバが実行されていることを確認します。

```
[root@mcctb~]# サービス mysqld ステータス
```

```
mysqld (pid 2739) is running...
```

9. セキュリティとパスワードを設定します。

```
[root@mcctb~]# mysql_secure_install
```

NOTE: RUNNING ALL PARTS OF THIS SCRIPT IS RECOMMENDED FOR ALL MySQL
SERVERS IN PRODUCTION USE! PLEASE READ EACH STEP CAREFULLY!

In order to log into MySQL to secure it, we'll need the current password for the root user. If you've just installed MySQL, and you haven't set the root password yet, the password will be blank, so you should just press enter here.

Enter current password for root (enter for none): <== on default
install

hit enter here

OK, successfully used password, moving on...

Setting the root password ensures that nobody can log into the MySQL root user without the proper authorization.

Set root password? [Y/n] y

New password:

Re-enter new password:

Password updated successfully!

Reloading privilege tables..

... Success!

By default, a MySQL installation has an anonymous user, allowing anyone to log into MySQL without having to have a user account created for them. This is intended only for testing, and to make the installation go a bit smoother. You should remove them before moving into a production environment.

Remove anonymous users? [Y/n] y

... Success!

Normally, root should only be allowed to connect from 'localhost'.
This

ensures that someone cannot guess at the root password from the network.

Disallow root login remotely? [Y/n] y

... Success!

By default, MySQL comes with a database named 'test' that anyone can access. This is also intended only for testing, and should be removed before moving into a production environment.

Remove test database and access to it? [Y/n] y

- Dropping test database...

ERROR 1008 (HY000) at line 1: Can't drop database 'test';

```
database doesn't exist
```

```
... Failed! Not critical, keep moving...
```

```
- Removing privileges on test database...
```

```
... Success!
```

Reloading the privilege tables will ensure that all changes made so far will take effect immediately.

```
Reload privilege tables now? [Y/n] y
```

```
... Success!
```

All done! If you've completed all of the above steps, your MySQL installation should now be secure.

Thanks for using MySQL!

Cleaning up...

10. MySQL ログインが機能していることを確認します。

```
「 [root@mcctb~]#mysql-u root - p`
```

```
Enter password: <configured_password>
```

```
Welcome to the MySQL monitor. Commands end with ; or \g.
```

```
Your MySQL connection id is 17
```

```
Server version: 5.6.29 MySQL Community Server (GPL)
```

```
Copyright (c) 2000, 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
```

```
Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.
```

```
Type 'help;' or '\h' for help. Type '\c' to clear the current input statement.
```

```
mysql>
```

MySQLログインが想定どおりに機能している場合、出力は `mysql>` プロンプト。

MySQLの自動起動設定を有効にする

MySQLデーモンに対して自動起動機能が有効になっていることを確認する必要があります。MySQLデーモンを有効にすると、MetroCluster Tiebreaker ソフトウェアがインストールされているシステムがリブートした場合にMySQLが自動的に再起動されます。MySQLデーモンが実行されていない場合、Tiebreakerソフトウェアは引き続き実行されますが、再起動したり設定を変更したりすることはできません。

ステップ

1. MySQL がブート時に自動で起動することが有効になっていることを確認します

「`[root@mcctb~]# systemctl list-bunty-files mysqld.service``」と入力します

```
UNIT FILE                                State
-----
mysqld.service                          enabled
```

ブート時に MySQL を自動で起動することが有効になっていない場合は、MySQL のドキュメントを参照して、自動起動機能を有効にしてください。

Red Hat Enterprise Linux 8へのMariaDBサーバのインストール

Tiebreaker ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、ホストシステムに MariaDB サーバをインストールする必要があります。Red Hat Enterprise Linux 7またはCentOS 7の場合：[MySQL Serverのインストール](#)。

作業を開始する前に

ホストシステムが Red Hat Enterprise Linux （RHEL）8 で実行されている必要があります。

手順

1. としてログインします root ユーザ：

```
login as: root
root@mcctb's password:
Last login: Fri Jan  8 21:33:00 2017 from host.domain.com
```

2. MariaDBサーバをインストールします。

「`[root@mcctb~]#yum は MariaDB -server.x86_64 をインストールします`

```
[root@mcctb ~]# yum install mariadb-server.x86_64
Loaded plugins: fastestmirror, langpacks
...
...

=====
===
Package                                Arch  Version              Repository
Size
=====
===
Installing:
mariadb-server                        x86_64  1:5.5.56-2.el7      base
```

```

11 M
Installing for dependencies:

Transaction Summary
=====
===
Install 1 Package (+8 Dependent packages)
Upgrade          ( 1 Dependent package)

Total download size: 22 M
Is this ok [y/d/N]: y

Downloading packages:
No Presto metadata available for base warning:
/var/cache/yum/x86_64/7/base/packages/mariadb-libs-5.5.56-
2.el7.x86_64.rpm:
Header V3 RSA/SHA256 Signature,
key ID f4a80eb5: NOKEY] 1.4 MB/s | 3.3 MB 00:00:13 ETA
Public key for mariadb-libs-5.5.56-2.el7.x86_64.rpm is not installed
(1/10): mariadb-libs-5.5.56-2.el7.x86_64.rpm | 757 kB 00:00:01
..
..
(10/10): perl-Net-Daemon-0.48-5.el7.noarch.rpm | 51 kB 00:00:01
-----
-----
Installed:
    mariadb-server.x86_64 1:5.5.56-2.el7

Dependency Installed:
mariadb.x86_64 1:5.5.56-2.el7
perl-Compress-Raw-Bzip2.x86_64 0:2.061-3.el7
perl-Compress-Raw-Zlib.x86_64 1:2.061-4.el7
perl-DBD-MySQL.x86_64 0:4.023-5.el7
perl-DBI.x86_64 0:1.627-4.el7
perl-IO-Compress.noarch 0:2.061-2.el7
perl-Net-Daemon.noarch 0:0.48-5.el7
perl-PlRPC.noarch 0:0.2020-14.el7

Dependency Updated:
    mariadb-libs.x86_64 1:5.5.56-2.el7
Complete!

```

3. MariaDB サーバを起動します。

「[root@mcctb~]# systemctl start MariaDB」

4. MariaDBサーバが起動したことを確認します。

「 [root@mcctb~]# systemctl status MariaDB 」

```
[root@mcctb ~]# systemctl status mariadb
mariadb.service - MariaDB database server
...
Nov 08 21:28:59 mcctb systemd[1]: Starting MariaDB database server...
...
Nov 08 21:29:01 mcctb systemd[1]: Started MariaDB database server.
```

5. セキュリティとパスワードを設定します。



rootパスワードの入力を求められたら、空のままEnterキーを押してセキュリティとパスワードの設定を続行します。

[root@mcctb~]#mysql_secure_install

```
root@localhost systemd]# mysql_secure_installation
```

```
NOTE: RUNNING ALL PARTS OF THIS SCRIPT IS RECOMMENDED FOR ALL MariaDB
SERVERS IN PRODUCTION USE! PLEASE READ EACH STEP CAREFULLY!
```

```
In order to log into MariaDB to secure it, we'll need the current
password for the root user. If you've just installed MariaDB, and
you haven't set the root password yet, the password will be blank,
so you should just press enter here.
```

```
Enter current password for root (enter for none):
OK, successfully used password, moving on...
```

```
Setting the root password ensures that nobody can log into the MariaDB
root user without the proper authorisation.
```

```
Set root password? [Y/n] y
```

```
New password:
```

```
Re-enter new password:
```

```
Password updated successfully!
Reloading privilege tables..
... Success!
```

```
By default, a MariaDB installation has an anonymous user, allowing
anyone
to log into MariaDB without having to have a user account created for
```


them. This is intended only for testing, and to make the installation go a bit smoother. You should remove them before moving into a production environment.

Remove anonymous users? [Y/n] y

... Success!

Normally, root should only be allowed to connect from 'localhost'. This ensures that someone cannot guess at the root password from the network.

Disallow root login remotely? [Y/n] y

... Success!

By default, MariaDB comes with a database named 'test' that anyone can access. This is also intended only for testing, and should be removed before moving into a production environment.

Remove test database and access to it? [Y/n] y

- Dropping test database...
... Success!
- Removing privileges on test database...
... Success!

Reloading the privilege tables will ensure that all changes made so far will take effect immediately.

Reload privilege tables now? [Y/n]

... Success!

Cleaning up...

All done! If you've completed all of the above steps, your MariaDB installation should now be secure.

Thanks for using MariaDB!

MariaDBサーバの自動起動設定を有効にする

MariaDBサーバで自動起動機能がオンになっていることを確認する必要があります。自動起動機能を有効にし
ておらず、MetroCluster Tiebreaker ソフトウェアがインストールされているシステムをリブートする必要がある
場合、Tiebreaker ソフトウェアは引き続き実行されますが、MariaDB サービスを再起動できず、設定を
変更できません。

手順

1. 自動起動サービスを有効にします。

「`[root@mcctb~]# systemctl enable mariadb.service``」を参照してください

2. ブート時に MariaDB が自動で起動できることを確認します。

「`[root@mcctb~]# systemctl list-busy-files mariadb.service``」と入力します

```
UNIT FILE           State
-----
mariadb.service    enabled
```

Tiebreaker 1.4のインストールまたはアップグレード

MetroCluster構成を監視するには、ホストLinuxオペレーティングシステムでTiebreaker 1.4の新規インストールまたはアップグレードを実行します。

このタスクについて

- サポートされているバージョンのONTAPがストレージシステムで実行されている必要があります。を参照してください "[ソフトウェア要件](#)" 詳細については、表を参照してください。
- を使用してOpenJDKをインストールしておく必要があります `yum install java-x.x.x-openjdk` コマンドを実行します Tiebreaker 1.4以前では、JDK 1.8.0 (JRE 8) がサポートされます。

手順

1. MetroCluster Tiebreakerソフトウェアをダウンロードします。

"[MetroCluster Tiebreaker（ダウンロード） - NetApp Support Site](#)"

2. root ユーザとしてホストにログインします。
3. `[[install-tiebreaker]]` Tiebreakerソフトウェアをインストールまたはアップグレードします。

新規インストールを実行するか、既存のインストールをアップグレードするかに応じて、正しい手順を選択します。

新規インストールを実行します

- a. を実行してTiebreakerソフトウェアをインストールします。

```
rpm -ivh NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.4-1.x86_64.rpm
```

インストールが完了すると、次の出力が表示されます。

```
Verifying...
##### [100%]
Preparing...
##### [100%]
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [100%]
Post installation start Fri Apr  5 02:28:09 EDT 2024
Enter MetroCluster Tiebreaker user password:

Please enter mysql root password when prompted
Enter password:
Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
Created symlink /etc/systemd/system/multi-
user.target.wants/netapp-metrocluster-tiebreaker-software.service
→ /etc/systemd/system/netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service.
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Enabled autostart of NetApp MetroCluster Tiebreaker software
daemon during boot
Created symbolic link for NetApp MetroCluster Tiebreaker software
CLI
Post installation end Fri Apr  5 02:28:22 EDT 2024
Successfully installed NetApp MetroCluster Tiebreaker software
version 1.4.
```

既存のインストールをアップグレードする

- a. Tiebreakerソフトウェアをアップグレードします。

```
[root@mcctb ~]# rpm -Uvh NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-Software-1.4-1.x86_64.rpm
```

アップグレードが完了すると、次の出力が表示されます。

```
Verifying...
##### [100%]
Preparing...
##### [100%]
Upgrading NetApp MetroCluster Tiebreaker software....
Stopping NetApp MetroCluster Tiebreaker software services before
upgrade.
Updating / installing...
  1:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [ 50%]
Post installation start Mon Apr  8 06:29:51 EDT 2024
Synchronizing state of netapp-metrocluster-tiebreaker-
software.service with SysV service script with
/usr/lib/systemd/systemd-sysv-install.
Executing: /usr/lib/systemd/systemd-sysv-install enable netapp-
metrocluster-tiebreaker-software
Attempting to start NetApp MetroCluster Tiebreaker software
services
Started NetApp MetroCluster Tiebreaker software services
Enabled autostart of NetApp MetroCluster Tiebreaker software
daemon during boot
Created symbolic link for NetApp MetroCluster Tiebreaker software
CLI
Post upgrade end Mon Apr  8 06:29:51 EDT 2024
Successfully upgraded NetApp MetroCluster Tiebreaker software to
version 1.4.
Cleaning up / removing...
  2:NetApp-MetroCluster-Tiebreaker-
So##### [100%]
```



誤った MySQL ルートパスワードを入力すると、Tiebreaker ソフトウェアのインストールが完了したことが通知されますが、Access denied メッセージが表示されます。問題を解決するには 'rpm -e コマンドを使用して Tiebreaker ソフトウェアをアンインストールし' 正しい MySQL ルート・パスワードを使用してソフトウェアを再インストールする必要があります

4. Tiebreakerホストから各ノード管理LIFおよびクラスタ管理LIFへのSSH接続を開き、MetroCluster ソフトウェアへのTiebreakerの接続を確認します。

関連情報

"ネットアップサポート"

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。